

# 牛久：学校周辺に見る自然

第21号 ひたち野西近隣公園

2013年9月20日発行

< 速報 夏の終わりのみずべ公園 >



つながりながら産卵するギンヤンマ。前がオスで後ろがメス(上)。

なわばりの見回りをするオス(左下)。

はねを休めるオス(右下)。そのわきにはクモが…。

9/19でひたち野うしく小の仕事が一区切りなので、久しぶりにみずべ公園を歩いてきました。3年生の皆さん、夏休み前の観察でギンヤンマの産卵が見られる時期を教えましたね。おぼえてますか？もっと早くから産卵しているのだろうけど、みずべ公園では8月の終わり～9月いっぱいくらいにとってもよく見かけます。この日も見られましたよ。他のオスが割りこんでじゃましたり、オスとメスがつながったままなわばり争いしたりと、なかなかのドラマがありました。23年度41号も参考に。



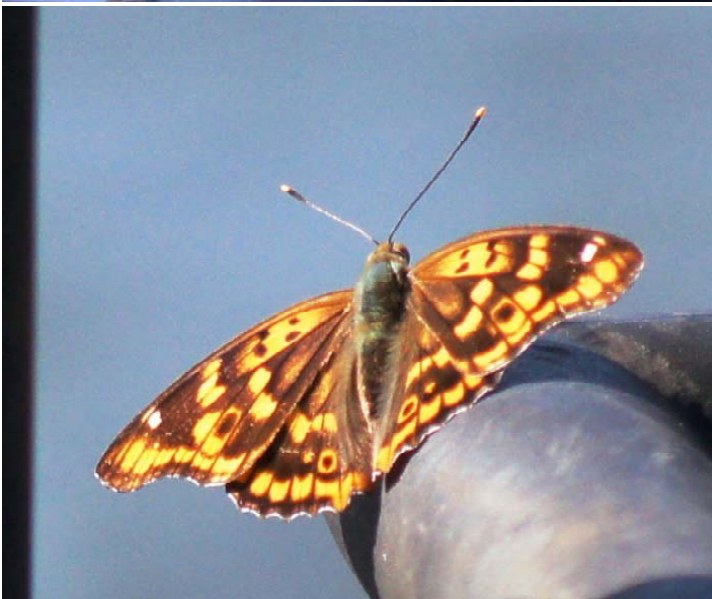


シラカシのふたごのドングリ。さがすと、けっこう見つかります。

以前お話しした、ふたごのドングリも、あちこちで見つかりましたよ。木の名前は**シラカシ**。どうもシラカシのようにふたごや三つ子のできやすい種類と、そうでない種類とあるようです。ただし、多くは熟さないうちに枯れて落ちてしまうようで、大きく成熟したのはあまり見かけません。23年度50号も参考に。



**コムラサキ**もめずらしくデッキの手すりにとまっていた。はねの表と裏で、もようがぜんぜん違いますね。写真はメスで、オスよりじみです。ただし、光の当たる角度によっては右下の写真のように一部で紫が輝いて見えたりします。不思議ですね。すぐそばにカワヤナギの木があるので、産卵に来ていたのかもしれませんが。【理科支援員：宮内】



デッキの手すりにとまるコムラサキのメス。オスよりもじみで、表と裏で異なるもよう。足は何本？。近くには幼虫が葉を食べるカワヤナギがありました。

